

都立青山特別支援学校（港区・渋谷区・目黒区センター校）

特別支援教育センター的機能通信 No.3（通巻No.89）

つなぐ



令和8年度 3月 10日（火）

都立青山特別支援学校長	中澤 将人
相談支援部主任	田村 明子
文責	斎須 依恵
	田崎 里香
	黒子 澄子

学校間交流を行いました！

1月26日（月）に、都立青山高校の青山フィルハーモニー管弦楽団（以下青フィル）の生徒約100名を本校体育館にお迎えし、小学部1・2・3年生の児童70名と交流を行いました。ステージの幕が開き、BGMに合わせて青フィルの生徒たちが登場すると、児童らは期待に胸を高鳴らせ拍手で歓迎しました。

交流会は、司会進行も含めて青フィルの生徒が行いました。青フィルの生徒は、事前に本校からのリクエストから選曲をし、この日のために事前の打ち合わせや準備、練習に時間を費やしてくれました。



100名近い楽団の演奏は、繊細な音色や迫力のある打楽器の音など生演奏でしか感じるできないものがあり、児童たちはとても集中して鑑賞していました。楽曲は、本校がリクエストをした児童らになじみのある曲から、「威風堂々」や「白鳥の湖」といったクラシックの曲と続けました。そして、曲の合間には「楽器紹介クイズ」が行われ、児童たちが見やすいように楽器を見せてくれたり、音色を聴かせてくれたりしながら楽しいやり取りが行われました。また、今年度も昨年に引き続き、青フィルの生徒が一人一人手作りしてくれた楽器を、手渡してプレゼントしてくれました。振るとシャカシャカと音が鳴ったり、きらきら光るシールが飾られていたり、同じものが一つもない個性あふれる楽器に、児童たちは目を輝かせていました。プレゼントしてもらった楽器を手に、最後は「ぼくらはみらいのたんけんたい」を一緒に踊りました。初めて交流をした1年生は、緊張した表情の子もいましたが、落ち着いて交流に参加することができ、笑顔で楽しむ姿がありました。そして、毎年交流を重ねていることで、2年生、3年生は一層意欲的に交流を楽しむ様子が見受けられ、次年度以降の交流にも期待が広がりました。

体育館のキャットウォークには、たくさんの青山高校の保護者の方々が見学に来てくださいました。都立青山高校の保護者の誘導や対応に、本校PTA役員の保護者の方々の御協力をいただいたことによって、「息子が青山特別支援学校の児童さんに優しく接する姿を見ることができて嬉しい」などの感想を、保護者同志のやり取りの中から聞くこともできました。

同じ地域で過ごす学校として、引き続きお互いを思いやる気持ちを大切にしながら、つながりをもち続けていきたいと思えます。



今年度の副籍交流について

本校における今年度の副籍交流の実施状況を御紹介します。お互いの学校が、よい形で歩み寄り、より内容を発展させて交流を行うことができたケースもいくつかありました。次年度以降も、多様な取り組みにつながっていくことを期待します。

区ごとの実施者数

区	在籍数	副籍実施者数		
		直接	間接	交流なし
港区	小：28	12	6	10
	中：21	5	5	11
渋谷区	小：43	18	7	18
	中：22	3	2	17
目黒区	小：30	14	9	7
	中：10	4	2	4
千代田区	小：18	5	7	6
	中：7	2	1	4
品川区	小：1	1	0	0
	中：0	0	0	0
0 その他	小：1	1	0	0
	中：2	0	0	0

学年ごとの実施状況

小学部

	直接	間接	交流なし	在籍数
小1	13	4	8	25
小2	18	6	4	28
小3	5	7	5	17
小4	6	4	9	19
小5	5	7	9	21
小6	5	1	8	14
合計	52	29	43	124

中学部

	直接	間接	交流なし	在籍数
中1	5	3	8	16
中2	8	4	12	24
中3	1	3	16	20
合計	14	10	36	60

※いずれも、年度当初の在籍数に基づいた数値です。
年度途中で交流形態を変更したケースが若干数あります。

直接交流の例と保護者の感想

- ・総合的な学習で参加 → 最後の交流だったため手作りの卒業証書をくれた。クラスメイトの温かいセレモニーに感動した。
- ・学習発表会リハーサルを鑑賞 → スタート前、ステージ上からお友達が声をかけてくれた。友達の発表を集中して見学することができた。
- ・美術の授業で「絵画模写」に参加 → 周りの子がフレンドリーに話しかけてくれた。先生が絵を褒めてくれ、丁寧にアドバイスをくれた。

★このように充実した交流ができたことをうれしく思う一方で、満足のいく交流ができなかったという声もありました。いただいた様々な御意見をもとに区や地域指定校と話し合い、次年度に活かしていきたいと思えます。

◆校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。

コーディネーターが御家庭での子育てのお悩みなど、一緒に考え、解決していけるよう御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御相談ください。

